

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート(令和3年度)

施設名	吹田市資源リサイクルセンター	所管部室課名	環境部環境政策室
所在地	吹田市千里万博公園4-3	設置年月日	平成4年11月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	ごみの減量、再資源化及び再生利用の推進を図り、快適な生活環境づくりや持続可能な社会の実現を目指す。		
(2)規模、開館日等	【規模】 ・市民工房2 : 30人 ・マルチホール : 270人 ・講義室1 : 45人 ・講義室2 : 81人 ・生活学習室 : 24人 ・会議室 : 30人 ・和室 : 12人 ・展示室 : 170㎡	【開館日等】 開館時間: 午前9時～午後5時 休館日: 月曜日、年末年始(12/29～1/3)、国民の祝日(国民の祝日が月曜日の場合はその翌日も休館日)、施設点検日(年間1日程度)	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	公益財団法人 千里リサイクルプラザ					
(2)指定期間	平成29年4月1日 ～ 令和4年3月31日(5年間)					
(3)選定方法	非公募					
(4)指定管理者 が行う業務内容	1 施設の使用の許可及び使用料の徴収に関する業務 2 施設の管理業務 3 視察・見学者の応対 4 市民工房の運営 5 市民の不用品の交換、物流を促進する事業 6 展示等に関する事業 7 環境問題及び環境保全活動促進に関する市民・事業者向け啓発事業 8 多様な主体と連携した業務の実施 9 調査研究に関する業務 10 吹田市資源リサイクルセンター事業の広報等に関する業務					
(5)指定管理者 の収支			令和2年度		令和3年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収入	指定管理料 又は利用料金 (円)	51,524,000	50,407,291	51,524,000	49,738,610
		自主事業収入 (円)	5,853,000	1,504,780	5,905,000	2,126,851
		その他 (円)	18,904,000	18,804,289	18,899,000	18,793,528
	支出	管理経費 (円)	51,524,000	50,407,291	51,524,000	49,738,610
		自主事業 (円)	24,713,000	17,375,932	24,763,000	16,991,816
		その他 (円)	0	0	0	0
収支差額 (円)		44,000	2,933,137	41,000	3,928,563	

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和2年度		令和3年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	貸室利用件数及び利用率(件)	-	512件(25.5%)	-	454件(18.1%)
2	貸室利用人数(人)	-	8,281人	-	8,133人
3	視察・見学者数及び団体数(人)	-	942人(12団体)	-	1,948名(37団体)
4	工房利用者数(受託のみ)(人)	-	3,122人	-	3,793人
5	講演会(人)	-	-	-	27人(1回)
6	くるくる環境スクール(人)	-	90人(6回)	-	97人(7回)
7	市民研究員研修講座(人)	-	28人(1回)	-	51人(4回)
8	環境出前講座(人)	-	335人(5回)	-	231人(17回)

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	各工房利用や施設見学、環境スクールの後に、アンケートを活用した利用者ニーズの把握に努めている。またメールや電話等の問い合わせも間接的なニーズ把握の材料として有効利用している。
(2)把握結果	様々な取組みに対して多くの好意的な意見を受けており、事業の継続的發展に努め、利用者の更なる期待に応えている。
(3)結果を受けての対応状況	コロナ禍の状況下、通常の来館者に加え外出を躊躇する施設利用者に向けても、例えば抽選販売用の再生自転車や再生家具の画像のホームページ上のアップロードや、facebook、twitterでの親しみやすい情報発信により、満足度を高める恒常的な取組みを行っている。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	・市民、企業、団体等と協働し、施設の設置目的に沿った運営が行われている。 ・関係法令を遵守した運営が行われており、利用者の公平性が確保されている。 ・指定管理者が定める個人情報保護規則に基づき、個人情報は適正に取り扱われている。また、個人番号も適正に取り扱われている。
(2)施設の効用の発揮	・施設の設置目的に沿った事業計画を策定し、市からの受託事業に加え、魅力ある自主事業を実施するなど、施設の有効活用を図っている。 ・オンラインによるイベントの開催、市民工房のインテリア・レイアウトの変更等、新たなことに取り組んでいる。 ・利用者サービスの向上を図るため、利用者アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	・適正な人員体制を構築しており、退職者の人員補充も速やかに行っている。また、新規事業の実施に伴い、必要な人員を補充している。 ・自転車工房では、有資格者を直接雇用し、他の工房についても熟練者を配置している。 ・業務上必要な研修は実施されており、職員の知識、技能の向上を図っている。 ・本市からの指定管理委託料に加え、基本財産の運用益により、安定的な事業運営が行われている。
(4)施設の管理経費の縮減	物品購入の際には、数社に対して見積合せを行うなど、事業経費の削減に努めている。 なお、毎年度、剰余金については市に返納している。
(5)その他	分別ボックスによる紙ごみ分別の徹底、不要な照明の消灯、積極的な裏紙の利用といった取組を継続して実践している。
(6)総合評価	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、感染対策を堅実に行いつつ、市の委託事業に加え、施設の設置目的に合致した自主事業を多数実施しており、固定ファンを獲得している。今後、オンラインによるイベントの開催、SNS等の活用による情報発信、新たな事業等に、さらに注力することで、幅広い年代のファンの獲得と積極的な啓発活動に努められたい。